

25年度グローバルイノベーション創出支援事業にかかる評価について

うめきたにおけるグローバルイノベーション創出支援の基本方針(案)

基本方針(案)の目標(概ね3年間)
 本拠点の趣旨に賛同し活動に参画またはSNS等でつながる人数 100,000人
 グローバル展開を見込まれるプロジェクト創出支援 100件

国内外のスーパープロデューサーを核として
 イノベーション創出支援チームを生み出す

【スーパープロデューサー・ネットワークの構築】
 ・専門知識や経験を有する**支援チームを創出**

ニーズが見え、技術が見つかり、
 イノベーションのプロセスそのものを「見える化」する

【イノベーションプロセスの見える化】
 ・社会ニーズの顕在化をはじめ、事業化に必要な技術の探索
 など、**プロジェクトの創出ができる仕組みづくり**

英語を使って世界とつながる

【グローバル情報発信とグローバルコミュニティへの接続】
 ・大阪の取組みや技術を英語で発信しながら、国際会議の開催やSNS等を通じ、**グローバルなコミュニティに接続**
 【グローバルイノベーション人材発掘】
 ・成功した起業家等と接する機会をつくり、**起業家マインドを醸成**
 ・社会ニーズに熱意をもって取り組む**イノベーション人材を発掘**

事業推進に向けたプラットフォームづくり

・プロデューサー、起業人材、中間人材、連携パートナー等の発掘
 ・積極的な連携・共催事業の実施によるプラットフォームの形成

プロジェクト創出に向けたプロセス

情報発信

国内外の起業家予備軍や
 新規事業担当者に認知される

○情報発信
 ○国際プロモーション

等

コミュニティ 形成・連結

多様なプレイヤーが混ざり合う
 場の形成

○多様なワークショップ
 (シリコンバレー等)

等

プロジェクト創出

潜在ニーズを顕在化し、多様な
 プレイヤーとのコラボレー
 ションによりプロジェクトを創出

○ものアプリハッカソン
 ○オープンイノベーション
 ○リーンローンチパッド

等

プロジェクトのショーケース

大阪発の国際的テックカンファレンスを
 立ち上げ、プロジェクトを世界へ発信

○国際イノベーション会議
 (Hack Osaka)

3年でのサクセスストーリー

支援したプロジェクトチームが世界有
 数のテックカンファレンスに出場し、高
 評価を得る

○国際的発信力の高いテックカンファ
 レンスへの出場(TechCrunch等)
 ○国際イノベーション会議がグローバ
 ルに認知されている

25年度事業

25年度評価基準

	情報発信	コミュニティ形成・連結	プロジェクト創出	プロジェクトのショーケース
年間事業量 (アウトプット)	情報発信、国際プロモーション 情報発信 100件	イノベーション人材のコミュニティ形成 80回 海外ワークショップ 1回 プログラム参加者 2,400人以上	ニーズ顕在化プログラム 20回、ハッカソン 6回 海外ワークショップ 1回 オープンイノベーションマッチング、投資家・起業家マッチング 6回 研究会 12回 プログラム参加者 1,400人以上	国際イノベーション会議の開催 1回 参加者 200人以上
初年度の 成果 (アウトカム)	国内外のメディアに取り上げられる	起業・イノベーション創出を担う人材を輩出する多様なコミュニティの活動が活性化している	イノベーション創出に資するプロジェクトが具体化している	国内外から注目度が高いプロジェクト発表の場として、国際イノベーション会議が評価される(アンケートやメディア露出等)
	3万人 参加者数および情報発信先(参加者4,000人以上+SNS、メーリングリスト等) 20件 グローバル展開を見込まれるプロジェクト創出支援			